



令和 8 年 1 月 21 日

国土交通省関東地方整備局
相模川水系広域ダム管理事務所

宮ヶ瀬ダムの貯水状況についてお知らせします

～宮ヶ瀬ダムの貯水量がこの時期としては運用開始以降最少となっています～

神奈川県の水がめである宮ヶ瀬ダムでは、少雨傾向の状態が続いており、特に10月、11月の雨量が平年の47%にとどまったことから、この時期としては、運用開始以降最少の貯水量となっています。

また、河川の環境の維持や水道用水に必要な水を補うために、宮ヶ瀬ダムから放流を継続しているため、貯水率は50%を下回り、貯水量はさらに低下する傾向にあります。

相模川水系広域ダム管理事務所では、関係機関と連携して、引き続き、きめ細やかな水運用を行ってまいりますが、ダムに貯留された水量には限りがありますので、水資源を大切に使用願います。

《1月20日0時 宮ヶ瀬ダムの貯水状況》

宮ヶ瀬ダム 貯水量 85,484千m³ 貯水率47%

(平成27年から令和6年までの10年間の平均の貯水率88%)

降雨に恵まれず貯水量の減少が継続する場合には、今後の貯水状況に応じた具体的な対策を順次お知らせいたします。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 厚木記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 相模川水系広域ダム管理事務所

電話：046-281-6911（代表） FAX：046-281-5696

広域水管理課長：尾崎（おさき）（内線：341）

1. 宮ヶ瀬ダム上流域平均降水量の状況（令和8年1月20日0時までの降水量）

宮ヶ瀬ダム上流域における降水量は、昨年3月から5月までは平年（平成27年から令和6年までの10年間の平均）を上回りましたが、6月から11月までは、7月と9月の月降水量が概ね平年並みとなったものの、その他の月では平年を大きく下回り、11月は宮ヶ瀬ダムの運用開始以降、最小の月降水量を記録しています。

また、令和7年における累計の降水量は、平年の2,807mmから約500mm少ない2,303mmとなり、宮ヶ瀬ダムの運用開始以降2番目に少ない年降水量を記録しています。

なお、今年1月の月降水量は、1月20日0時現在においても0mmであり、少雨傾向が続いている。

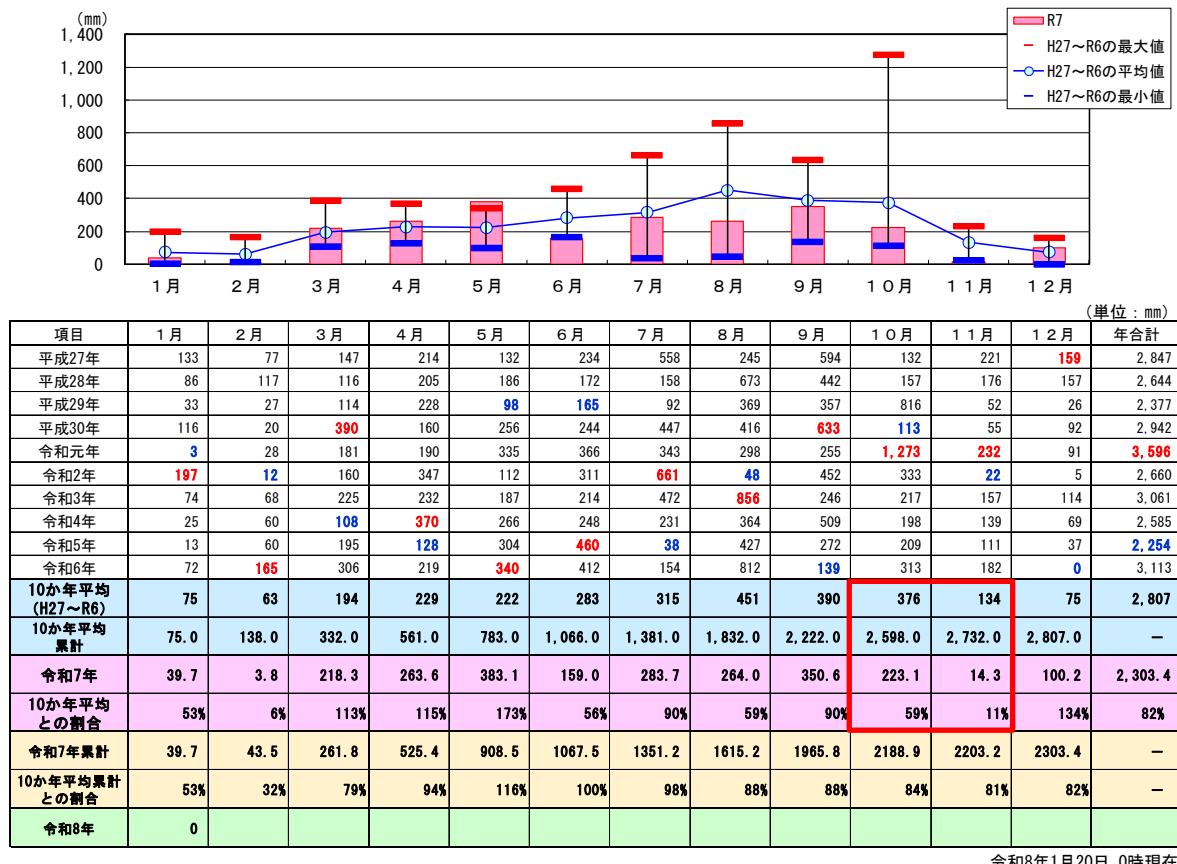
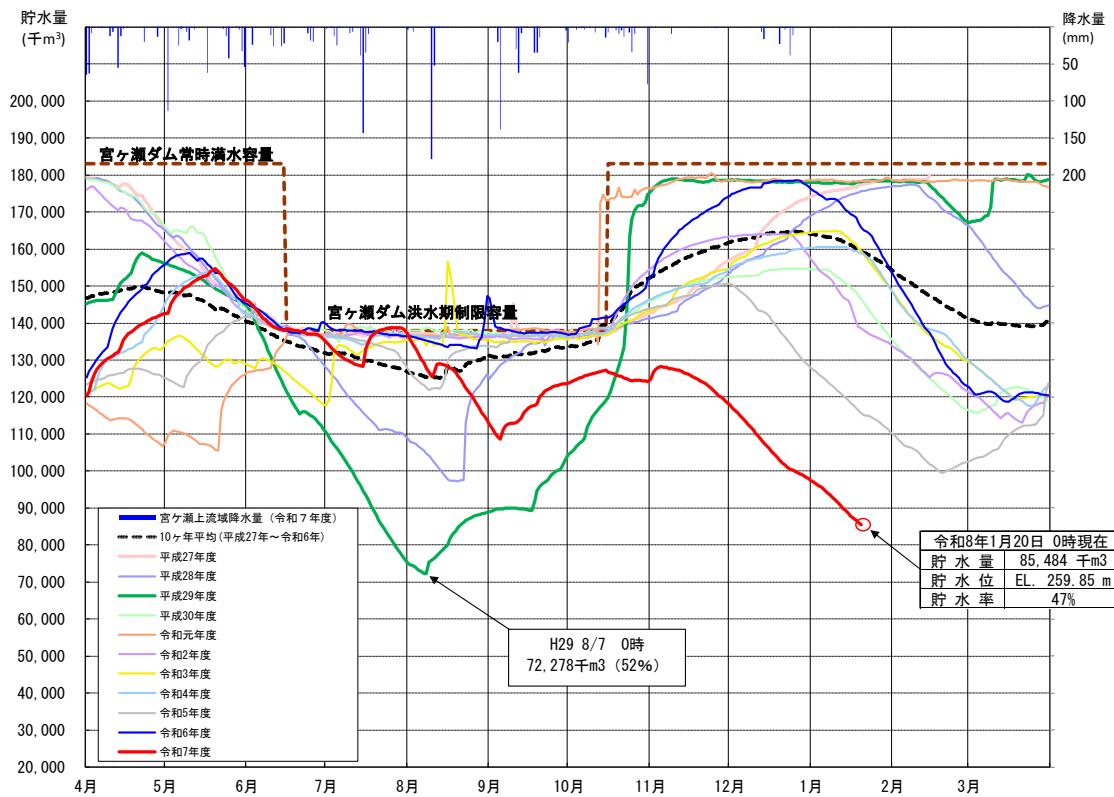


図-1 宮ヶ瀬ダム上流域平均降水量

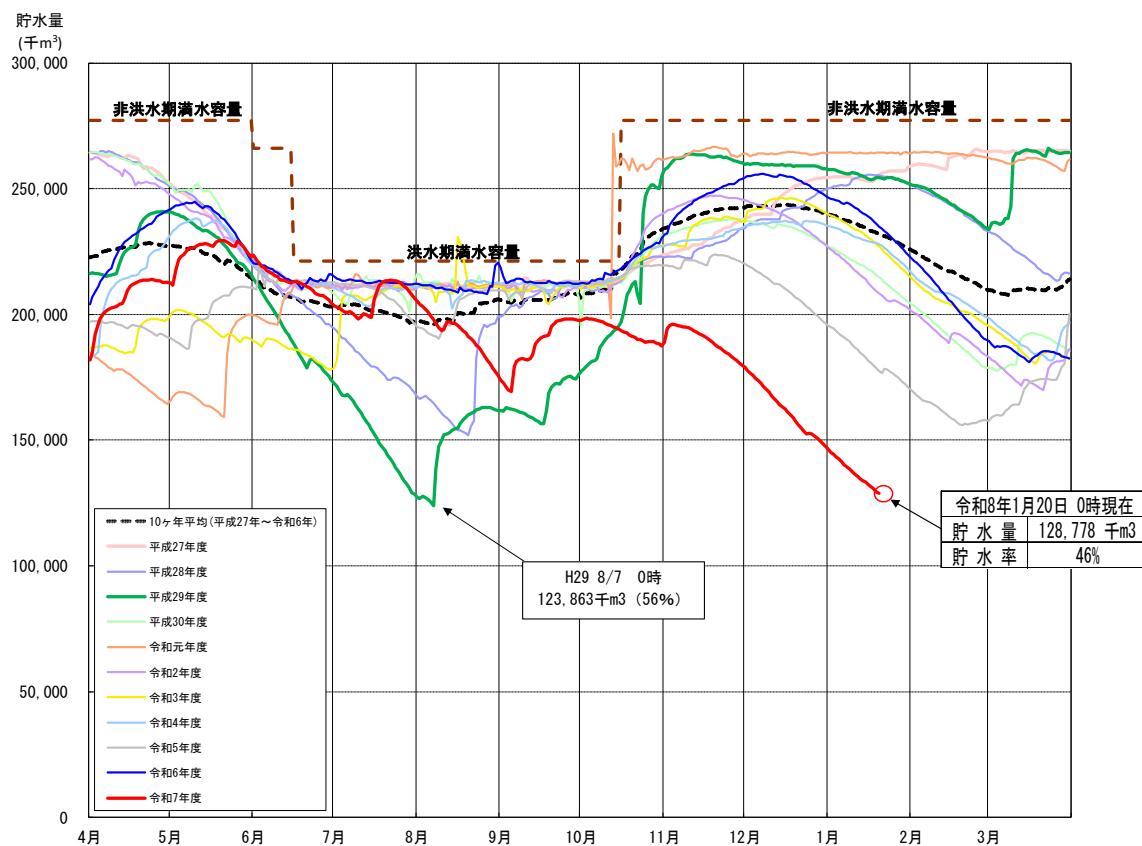
2. 宮ヶ瀬ダム貯水量の状況（令和8年1月20日0時までの貯水量）

昨年7月30日には洪水期における満水まで貯水量があり、少雨傾向によって貯水量は低下したもの、9月4日から5日にかけて、宮ヶ瀬ダム上流域で159.3mmの降雨があったことにより、貯水量は上昇傾向にありました。

その後、10月14日から、水道用水に必要な水を補うための放流を開始したことによって、貯水量は低下傾向となり、降雨により一時的な貯水量の上昇はあったものの、貯水量は低下し続け、1月20日0時現在において、この時期としては運用開始以降もっとも少ない貯水量85,484千m³（貯水率47%）を記録しています。



【参考①】相模湖・津久井湖・宮ヶ瀬湖 3湖の合計貯水量の状況



【参考②】宮ヶ瀬ダム貯水状況の写真



【R6. 12. 17 10 時 EL. 285. 08m (貯水率 98%)】



【R8. 1. 14 9 時 EL. 261. 05m (貯水率 49%)】

図-4 ダムサイト上流側の貯水状況



【R6. 12. 17 10 時 EL. 285. 08m (貯水率 98%)】



【R8. 1. 14 9 時 EL. 261. 05m (貯水率 49%)】

図-5 ダムサイトの貯水状況